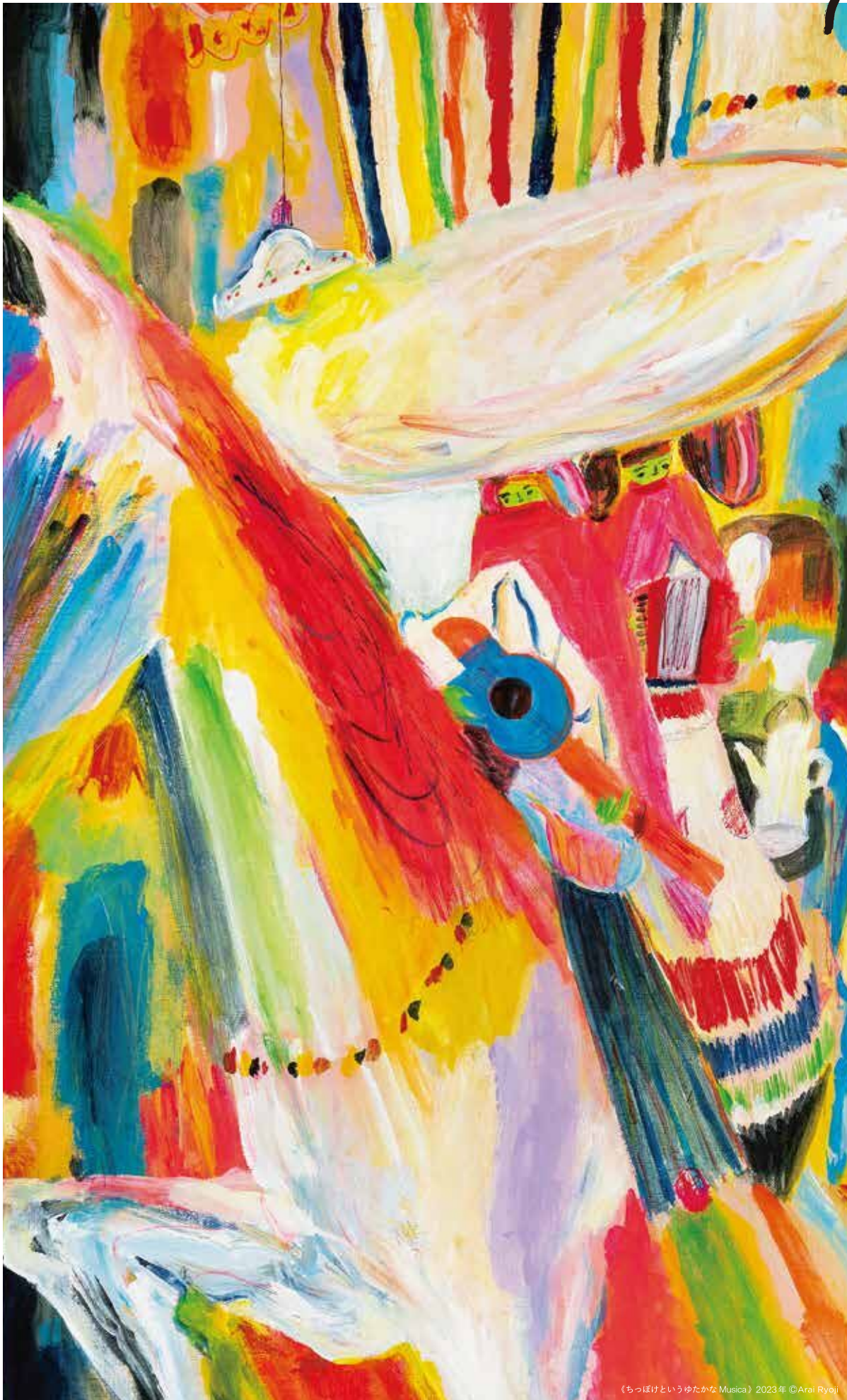


いつも じないところへ たひするきぶんだった

ARAI RYOJI 無尽井原



《ちっぽけというゆたかな Musica》2023年 ©Arai Ryoji

2023.10.4 WED — 12.17 SUN
new born / ARAI RYOJI — ENDLESS UNKNOWN JOURNEY SENSATION —

●障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ●内は前売券および市内在住65歳以上の料金 ※前売券はミュージアムショップまたはロイヤルチケット(コード3131)オンラインレバ(オンラインチケット)千葉都市モノレール千葉みなと駅(千葉駅)都賀駅(千城台駅)の窓口にて10月3日まで販売 10月4日以降は当日券販売 ●10月18日(水)は市民の日につき観覧無料 ●ナイトミュージアム割引(金土曜日の18時以降は観覧料が半額になります) ●割引の併用はできません ●本展チケットで5階常設展示室千葉市美術館ロクシヨ選もご覧いただけます

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

休室日：10月10日(火)、23日(月)、11月6日(月)、20日(月)、12月4日(月) ※第1月曜日は全館休館
開館時間：10:00-18:00(金、土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで
観覧料：一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、小・中学生、高校生無料
主催：千葉市美術館、朝日新聞社 / 協力：偕成社、積水ハウス、宮本武典 / 展覧会公式サイト：<https://arairyoji-nb.exhibit.jp>

new born 荒井良二



《名前の知らないわたしと誰かが聞いている》2023年 ©Arai Ryoji



『あさになったのでまどをあけますよ』原画 2011年 備成社 ©Arai Ryoji



《逃げる子どもI》2010年 ©Arai Ryoji



いつもしどろいどろ入るたびするまぶんだった

2023.10.4 WED — 12.17 SUN

2005年に日本人として初めてアストリッド・リンドグリーン記念文学賞を受賞するなど、世界的な評価を受けるアーティスト、荒井良二(1956-)。彼の幅広い活動は、絵本だけでなく、絵画、音楽、舞台美術にまでおよびます。

本展では、そんな荒井良二の「いままで」と「これから」を語る作品たちを、荒井自身が再構成して紹介します。また、新作の立体インスタレーション《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけて 湧く水を汲み出す》を発表。展示室に点在する車輪のついた小さな家々が、それぞれに物語を内包しながら、この展覧会とともに旅をしていきます。

いつも、まさに旅をする時のように、先が見えない不安や恐れをも楽しみに変えてしまうような気持ちで活動の幅を広げてきた荒井良二。彼はこれまでどんどころを旅して、次はどこへ出かけていくのでしょうか。ここからまた新しい荒井良二が誕生=new bornする展覧会を、ぜひ体感してください。

荒井良二 | ARAI RYOJI

1956年山形県生まれ。日本大学藝術学部美術学科を卒業後、絵本を作り始める。1999年に『なぞなぞのたび』でポーロニヤ国際児童文学図書展特別賞を、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンドグリーン記念文学賞を受賞するなど、国内外で数々の絵本賞を受賞。日本を代表する絵本作家として知られ、海外でもその活動が注目されている。美術館での展覧会、NHK連続テレビ小説「純と愛」のオープニングイラスト、「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」の芸術監督など多方面で活動。主な絵本に『はっぴいさん』、『ねむりひめ』、『きょうはそらにまるいつき』、『きょうのぼくはどこまでだってはしれるよ』、『子どもたちはまっている』などがある。



《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけて 湧く水を汲み出す》より
2023年 ©Arai Ryoji

次回展預告

●サムライ、浮世絵師になる！
鳥文斎栄之展
2024年1月6日(土)～3月3日(日)

●館内に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。●内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

- JR千葉駅東口から／徒歩約15分／バスのは7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「靉川公園駅」下車徒歩約5分
- 京成千葉中央駅東口から：徒歩約10分
- 東京方面から車では／京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
- 地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
- シェアサイクルスポットがあります。



千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311(代表)
<https://www.cma-net.jp>

